

中枢神経系 (CNS) への薬物ダイレクトデリバリーのリスクと可能性： 安全性評価を左右する技術的要点と病理学的インサイト

2026年3月17日(火) 11:00-12:00 オンライン (Webex)



成功事例を通じて考える、日本のライフサイエンス企業の未来

講演者 (英語プレゼンテーション)



Alok Sharma

Director, Global Anatomic
Pathology & Madison Site Lead
Labcorp



本セミナーの詳細情報や参加登録はこちらの
QRコードからアクセスいただけます。

ご参加により得られる重要なインサイト：

1. CNSダイレクトデリバリーの最新動向を体系的に理解
ASO・AAVなど非従来型モダリティに適した投与ルート (IT / ICV / ICM) の特徴や、デリバリー成功率を左右する技術要因・リスクを包括的に把握できます。
2. 病理所見の正しい解釈と安全性評価の実践的ノウハウ
手技由来の変化と試験品起因の変化を区別するための判断ポイントや、IHCを用いた神経毒性評価の実務に直結する考え方を具体例とともに学べます。
3. CNS領域の前臨床設計に役立つ評価戦略と意思決定のヒント
発現部位・タイミング・用量反応性を踏まえた
“Weight-of-Evidence”的考え方を通じ、非従来型モダリティ開発におけるリスク低減と最適な試験設計の指針が得られます。